

建設分野の国家公務員・地方公務員をめざす

想定される具体的な進路・職種	国家公務員・地方公務員の建設系技術職
----------------	--------------------

国家公務員、地方公務員の建設系技術職は、道路、河川、上下水道等の社会基盤に関する計画、設計、建設、維持管理等に管理者の立場として従事する職業です。また、公務員試験に合格するためには、専門分野のみならず、幅広い教養が求められます。そこで、語学、数学、物理学、コンピューターなど、幅広い基礎科目をバランスよく学習し、基礎力や教養を身に付けるとともに、構造力学、水理学、地盤力学、計画学、建設マネジメントなどの専門科目を幅広く履修し、建設分野の管理者として必要な総合力、技術的判断力を身に付けることが重要です。

● 選択科目 ● 選択必修科目 ● 必修科目

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
理工学部総合基礎部門	<ul style="list-style-type: none"> ● 人文科学基礎 I ● 社会科学基礎 I ● アジア文化論 I ● 欧米文化論 I ● 英語コミュニケーション I ● ドイツ語 I ● フランス語 I ● 中国語 I ● 体育科学 I ● 人文科学基礎 II ● 社会科学基礎 II ● アジア文化論 II ● 欧米文化論 II ● 文化人類学 ● 英語コミュニケーション II ● ドイツ語 II ● フランス語 II ● 中国語 II ● 体育科学 II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文学 ● 日本国憲法 ● 英語コミュニケーション III ● ドイツ語 III ● フランス語 III ● 中国語 III ● 英語コミュニケーション IV ● ドイツ語 IV ● フランス語 IV ● 中国語 IV 		
専門部門	<ul style="list-style-type: none"> ● 理工学基礎科目 ● 数学 I ● 数学 II ● 物理学 I ● 物理学実験 I ● 化学 I ● 技術者倫理 ● コンピューターサイエンス ● コンピュータリテラシー I ● 理工学概論 I ● 数学 III ● 数学 IV ● 物理学 II ● 物理学演習 ● 物理学実験 II ● 環境倫理 ● コンピュータリテラシー II ● 理工学概論 II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 応用数学 I ● 確率統計学 ● 材料力学 ● 応用数学 II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 計算プログラミング ● 数値計算法 	
構造システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 構造力学 I ● 構造力学 II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 構造解析学 	
水工システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 水理学 I ● 水理学 II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水理学 III ● 陸水システム学 	
地盤システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 地盤力学 I ● 地盤力学 II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地盤力学 III ● 建設地質学 	
建設計画システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 社会基盤計画学 I 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会基盤計画学 II ● 都市・国土計画論 	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通システム学
建設材料システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 建設材料学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複合材料工学 I ● 建設材料リサイクル 	
防災システム系			<ul style="list-style-type: none"> ● 防災システム学 I ● 防災システム学 II ● 砂防工学 	
共通		<ul style="list-style-type: none"> ● 製図技法 ● 測量学 I ● 測量学 II ● 測量学実習 I 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設施工法 I ● 建設工学実験 I ● 建設工学実験 II ● 建設システム総合演習 ● 建設システムセミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設マネジメント ● 卒業研究

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

建設分野の技術系コンサルタントをめざす

想定される具体的な進路・職種

建設コンサルタント・計画設計技術者

建設技術系コンサルタントは、橋梁設計、道路計画などの構造事業、あるいは河川全般の調査や設計などの社会計画事業など、非常に幅広い分野の事業を展開しています。このようなコンサルタントをめざす人は、数学や物理学などの理工基礎科目、英語コミュニケーションなどの総合基礎科目を素養として習得し、構造力学、水理学、地盤力学などの力学科目と測量学、測量実習や製図などの土木事業にかかわる専門科目の習得が必要です。さらに、社会基盤計画学や都市・国土計画論、および建設マネージメントなどの都市計画に関する専門知識の習得が重要となります。

● 選択科目 ● 選択必修科目 ● 必修科目

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
理工学部総合基礎部門	<ul style="list-style-type: none"> ● 人文科学基礎 I ● 社会科学基礎 I ● アジア文化論 I ● 欧米文化論 I ● 英語コミュニケーション I ● ドイツ語 I ● フランス語 I ● 中国語 I ● 体育科学 I ● 人文科学基礎 II ● 社会科学基礎 II ● アジア文化論 II ● 欧米文化論 II ● 文化人類学 ● 英語コミュニケーション II ● ドイツ語 II ● フランス語 II ● 中国語 II ● 体育科学 II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文学 ● 日本国憲法 ● 英語コミュニケーション III ● ドイツ語 III ● フランス語 III ● 中国語 III ● 英語コミュニケーション IV ● ドイツ語 IV ● フランス語 IV ● 中国語 IV 		
専門部門	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学 I ● 数学 II ● 物理学 I ● 物理学実験 I ● 化学 I ● 技術者倫理 ● コンピューターサイエンス ● コンピュータリテラシー I ● 理工学概論 I ● 数学 III ● 数学 IV ● 物理学 II ● 物理学演習 ● 物理学実験 II ● 環境倫理 ● コンピュータリテラシー II ● 理工学概論 II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 応用数学 I ● 確率統計学 ● 応用数学 II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 計算プログラミング ● 数値計算法 	
構造システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 構造力学 I ● 構造力学 II 		
水工システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 水理学 I ● 水理学 II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 水理学 III ● 陸水システム学 	
地盤システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 地盤力学 I ● 地盤力学 II 		<ul style="list-style-type: none"> ● 地盤調査システム学
建設計画システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 社会基盤計画学 I 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会基盤計画学 II ● 都市・国土計画論 	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通システム学
建設材料システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 建設材料学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複合材料工学 I 	
防災システム系			<ul style="list-style-type: none"> ● 防災システム学 I ● 防災システム学 II 	<ul style="list-style-type: none"> ● 耐震工学 ● 防災計画論
共通		<ul style="list-style-type: none"> ● 製図技法 ● 測量学 I ● 測量学 II ● 建設デザイン学 ● 測量学実習 I 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設施工法 I ● 建設工学実験 I ● 建設工学実験 II ● 測量学実習 II ● 建設システム総合演習 ● インターンシップ（夏季・春季休暇中） ● 建設システムセミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 構造設計 ● 建設マネージメント ● 卒業研究

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

建設分野の民間企業就職をめざす

想定される具体的な進路・職種

総合建設会社（ゼネコン）・建設施工技術者

総合建設会社（ゼネコン）は、橋梁やライフラインを始めとする建設インフラ構造物を対象とした、設計、施工、そして技術研究を行う部署を有する大規模な会社です。これは、特に施工に関連する部署で働く建設技術者をめざす学生のための履修モデルで、数学や物理といった理工学基礎科目、構造力学、水理学、地盤力学等の力学科目、測量学、測量学実習などの施工に関連する基礎科目により建設に関連する基礎的な理論を修得し、建設施工法、構造システム学、建設地質学などの施工関連科目により施工技術に関する知見を身に付けることが重要です。

● 選択科目 ● 選択必修科目 ● 必修科目

区分	授業科目			
	1年次	2年次	3年次	4年次
理工学部総合基礎部門	<ul style="list-style-type: none"> ● 人文科学基礎Ⅰ ● 社会科学基礎Ⅰ ● アジア文化論Ⅰ ● 欧米文化論Ⅰ ● 英語コミュニケーションⅠ ● ドイツ語Ⅰ ● フランス語Ⅰ ● 中国語Ⅰ ● 体育科学Ⅰ ● 人文科学基礎Ⅱ ● 社会科学基礎Ⅱ ● アジア文化論Ⅱ ● 欧米文化論Ⅱ ● 文化人類学 ● 英語コミュニケーションⅡ ● ドイツ語Ⅱ ● フランス語Ⅱ ● 中国語Ⅱ ● 体育科学Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文学 ● 日本国憲法 ● 英語コミュニケーションⅢ ● ドイツ語Ⅲ ● フランス語Ⅲ ● 中国語Ⅲ ● 英語コミュニケーションⅣ ● ドイツ語Ⅳ ● フランス語Ⅳ ● 中国語Ⅳ 		
専門部門	<ul style="list-style-type: none"> ● 理工学基礎科目 ● 数学Ⅰ ● 数学Ⅱ ● 物理学Ⅰ ● 物理学実験Ⅰ ● 化学Ⅰ ● 技術者倫理 ● コンピューターサイエンス ● コンピュータリテラシーⅠ ● 理工学概論Ⅰ ● 数学Ⅲ ● 数学Ⅳ ● 物理学Ⅱ ● 物理学演習 ● 物理学実験Ⅱ ● 環境倫理 ● コンピュータリテラシーⅡ ● 理工学概論Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 応用数学Ⅰ ● 材料力学 ● 応用数学Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 計算プログラミング ● 数値計算法 	
構造システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 構造力学Ⅰ ● 構造力学Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 構造システム学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 橋工学
水工システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 水理学Ⅰ ● 水理学Ⅱ 		<ul style="list-style-type: none"> ● 海域システム学 ● 水質処理額
地盤システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 地盤力学Ⅰ ● 地盤力学Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地盤力学Ⅲ ● 建設地質学 	
建設計画システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 社会基盤計画学Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市・国土計画論 ● 道路システム学 	
建設材料システム系		<ul style="list-style-type: none"> ● 建設材料学 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複合材料工学Ⅰ ● 建設材料リサイクル ● 複合材料工学Ⅱ 	
防災システム系			<ul style="list-style-type: none"> ● 防災システム学Ⅰ ● 防災システム学Ⅱ ● 砂防工学 	
共通		<ul style="list-style-type: none"> ● 製図技法 ● 測量学Ⅰ ● 測量学実習Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設施工法Ⅰ ● 建設工学実験Ⅰ ● 建設工学実験Ⅱ ● 建設システム総合演習 ● インターンシップ（夏季・春季休暇中） ● 建設システムセミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設施工法Ⅱ ● 卒業研究

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※教員免許取得をめざす場合は、別途、教職課程の履修、学芸員資格取得をめざす場合は学芸員課程の履修が必要です。

※記載された科目のみでは卒業要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。